

“うれしいねっ”

うれしい、うれしいクリスマス、かんかんかん鐘の音
子どもの好きなイエスさまの、お生まれなされたこの良い日
みんなでお祝いいたしましょう (こどもさんびか)

★子どもだけでなく、クリスマスという言葉には大人も何かしらうれし
しさの響きがあるのではないのでしょうか。

★およそ2千年前に誕生されたイエスさまは、その生涯を通して
かみさまからのメッセージ「父なるかみさまは人間一人ひとりを愛し
ておられますよ」を伝え続け、ついに十字架の上で死んでしまわれた
のです。後になって世界中の人々が、このイエスさまのご生涯に共感
し、お誕生を覚えるようになりました。

★顧みて私どもも、強がっていても、時には自分のことを誰かに分か
って欲しいなど、心のどこかで求めているのではないのでしょうか。

★私ども大人もかみさまからご覧^{らん}になると、幼子と変わらない小さく
弱い者なのではないのでしょうか。

★年末でもあり、いよいよ気ぜわしくなりますね。それでもせめてク
リスマスには幼子に倣^{なら}って、うれしい心で「乳飲み子」イエスさまを
喜び、お祝いしたいと願います。きっとかみさまは、今のそのままの
わたしを、そしてわたしたちをしっかりと受け止め、祝福してくださ
るに違いありません。

恐れるな、私たちは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。
今日ダビデの町であなたがたのために、救い主がお生まれになり
ました。

この方こそ、主メシアである。あなた方は、布にくるまって飼^{かい}葉^ば
桶^{おけ}の中に眠っている乳飲み子を見つけるであろう。

これがあなたがたへのしるしです。